

2019 年 8 月 28 日

横浜ゴム、オールシーズンウルトラワイドベースタイヤ 「902L」の国内での本格販売を開始

横浜ゴム（株）はウルトラワイドベースタイヤ「902L（キューマルニ・エル）」を2019年9月2日より全国のヨコハマタイヤ販売会社を通じて販売開始します。同商品はオールシーズンタイヤで、発売サイズは455/55R22.5 164Lの1サイズで価格はオープンプライス。

ウルトラワイドベースタイヤとは、トラックに装着される複輪（2本1組）を単輪（1本）に置き換えることができる超偏平シングルタイヤ。単輪への置き換えにより、タイヤ組み換え・日常点検などの省メンテナンス化や、1軸当たり約85kgの軽量化^{※1}が可能となることから、例えば後輪2軸の大型トラックでは、約170kg^{※2}の積載量を増加させることが可能となります。

「902L」は、タイヤの回転方向と平行なスチールベルト層を有する独自開発のベルト構造「SpiraLoop[®]（スパイラループ）」を採用。これにより、走行によるショルダー部の成長とベルト部の歪みを抑制させ、優れた耐偏摩耗性と耐久性を確保することができ、タイヤの長寿命化に貢献します。また、トレッドパターンでは小ピッチブロックやスプリットクローズドサイプによりトラクション性能を高めたほか、転がり抵抗を低減するウェーブドグループ、排水性と操縦安定性に配慮した7本溝パターンを採用しました。当社はすでに北米市場にて同サイズ「902L」を投入しており、好評を得ています。

横浜ゴムでは近年のトラック用タイヤのシングル化需要に合わせ、ワイドベースの商品を豊富にラインアップしています。タイヤ幅385mmのワイドベースタイヤは、日本市場のトレーラー向け商品として、リブタイヤ「RY357」やオールシーズンタイヤ「MY507A」、スタッドレスタイヤ「901ZS」を販売中。タイヤ幅400mmを超えるウルトラワイドベースタイヤは、バスサイズである275/70R22.5の後輪用タイヤのシングル化として435/45R22.5の「TY517E」を2009年より導入。今回は11R22.5の後輪用タイヤのシングル化として、455/55R22.5の「902L」を横浜ゴムとしては日本で初めて本格導入します。

横浜ゴムは、2018年からスタートした3カ年の中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」においてタイヤ生産財事業を次の100年の収益の柱とすることを掲げ、トラック・バス用タイヤの拡販に取り組んでおり、独自技術である「SpiraLoop[®]」を採用した超偏平シングルタイヤを積極的に展開しています。

※1：（11R22.5の当社トラック・バス用タイヤ「710R」+鉄ホイール）×2本に対し（455/55R22.5の「902L」+アルミホイール）×1本の場合

※2：1軸当たりの軽量化できる重さ約85kg×2軸＝約170kg

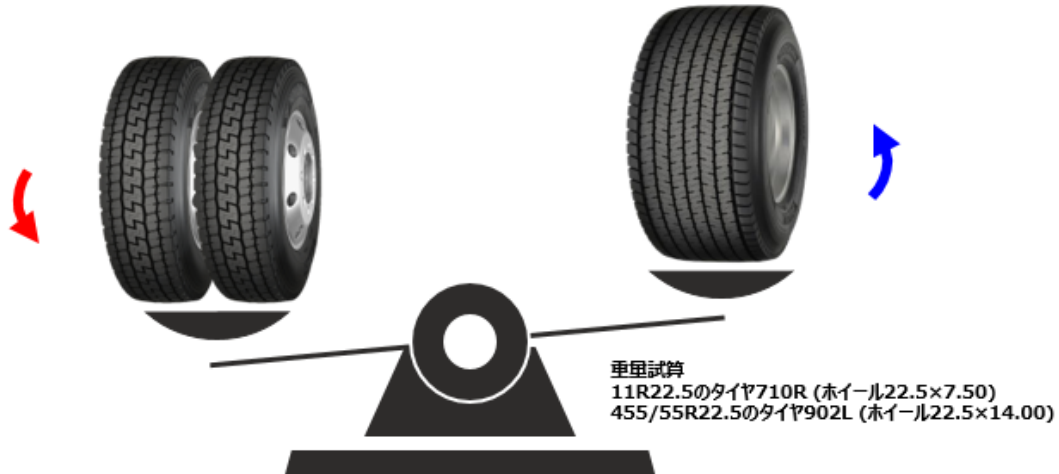


タイヤ・ホイールの軽量化により、積載量の増加が可能

■ 複輪を単輪に置換

1 軸あたり約 85kg(後輪 2 軸の場合約 170kg)軽量化し積載量を増加させることが可能

(11R22.5+アルミホイール) × 2 本 ⇒ ▲32.3Kg(1 軸 : ▲64.6Kg)
 (11R22.5+鉄ホイール) × 2 本 ⇒ ▲42.6Kg (1 軸 : ▲85.2Kg)



「SpiraLoop®」ベルトの採用により、優れた耐偏摩耗性を確保

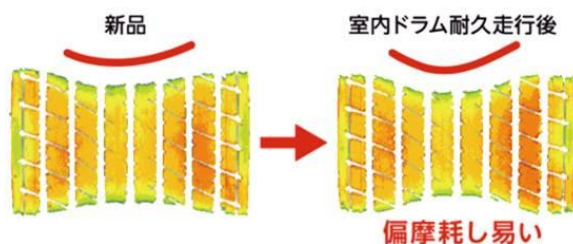
■ SpiraLoop® 構造

繋ぎ目の無いスチールベルトをタイヤ回転方向に対して平行に配置



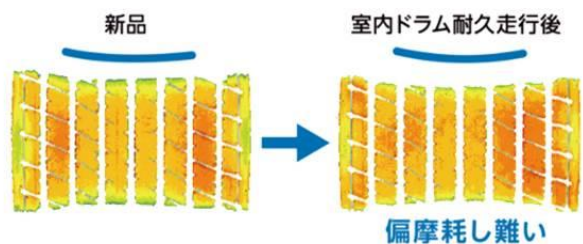
〈当社従来のベルト構造〉

ショルダー部が成長し、接地形状が悪化する

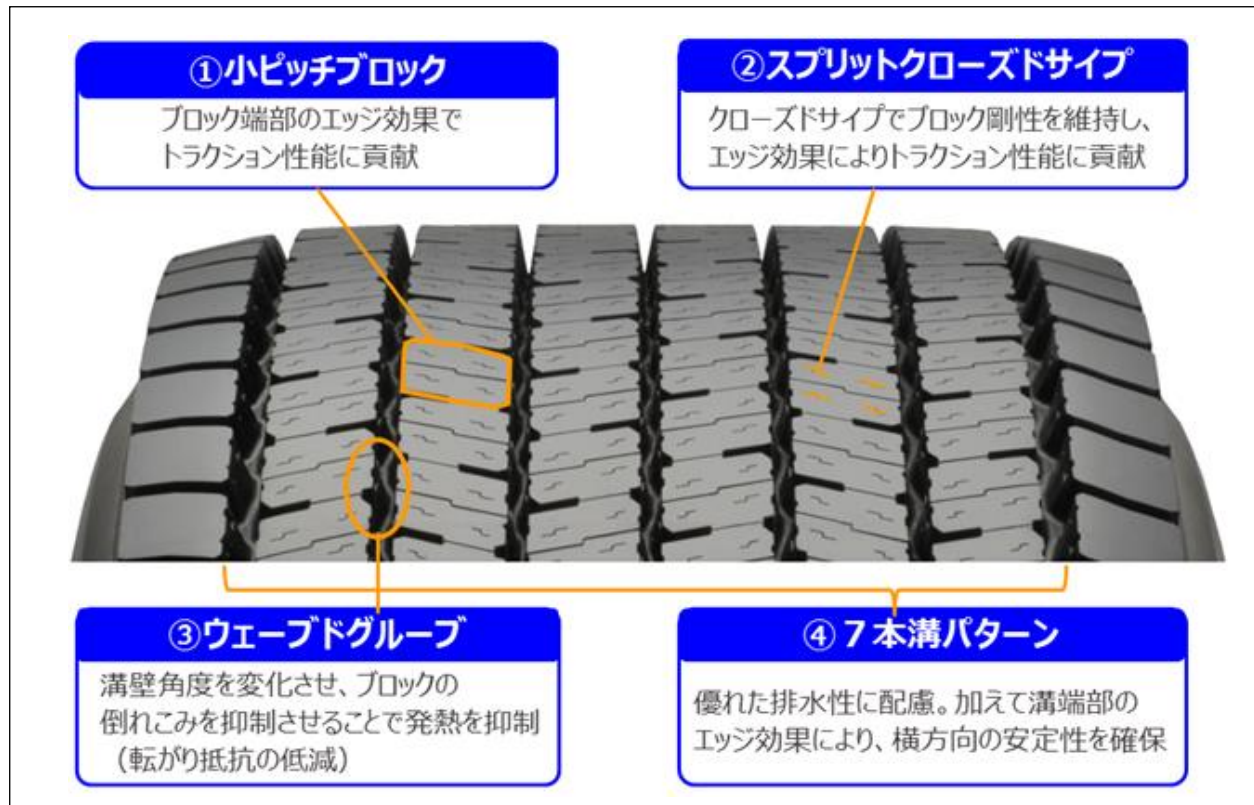


〈SpiraLoop® 構造〉

接地形状がほとんど変わらずショルダー摩耗を抑制



トラクション性向上や転がり抵抗の低減、操縦安定性などに貢献するトレッドパターン



このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570